

事業所名

多機能型事業所Seed&Sprout(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人(事業所)理念		「できた!」から「自信!」をが付き、「できる!」が増える。						
支援方針		<p>○子どもが、自分で『できた』と感じられる体験を得て、もう一度やってみようの気持ちで取り組み、『できた』が増えることで、自分ではできると確信し、自信を身につけることができるように関わっていく。</p> <p>○子どもが、一度のできたで満足せず、繰り返し取り組むことで、できることとし、もっとたくさんのできたを味わおうとするために、やってみようの気持ちを持って取り組むことができるように関わっていく。</p> <p>○子どもが、できた体験を重ね、気持ちよく過ごすことができる自分を自覚し、気持ちよく過ごすために必要な行動を考え、選択肢の中から、その時自分にとって最善の選択ができるように関わっていく。</p> <p>○子どもが、困っている自分に気がつき、困っている自分を受け入れた上で、どうすれば解決するのかを考え、困っている内容を、伝えられる相手に伝えたい内容を伝えられることができるように関わっていく。</p>						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>・子どもが、安心して生活できるように、療育の中で、気持ちよく過ごすことができた体験を、支援者やお友だちとの関わりを通じて身につけられるように関わる。</p> <p>・子ども一人一人の特性に合わせ、子どもが、気持ちよく過ごすために必要な行動を考え、行動し、気持ちよく過ごすことができるように関わり、日常生活や社会生活において、体験したことを活かすことで、安定した生活を送ることができるよう導いていく。</p> <p>・子どもが、職員との関わりを通じて、自分の気持ちと向き合い、折り合いをつける方法を見つけられることで、気持ちよく過ごすことができる自分を知ることができるように関わっていく。</p> <p>・子どもが、見通しを持って行動できるように、その日の活動の順番を自分で考えて選択し、決められるツールを使用したり、伝えられている内容を理解しやすくするための視覚支援ツールを用いたりして、子ども自身が理解した上で行動できるように関わっていく。</p>						
	運動・感覚	<p>・子どもが、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や身体操作、運動感覚を、療育の中で、楽しい気持ちで取り組めるように活動を提案し、意欲的に参加することで、高められるように関わっていく。</p> <p>・五感、固有受容覚、前庭覚を楽しみながら刺激することができる活動を、子どもの特性だけでなく、日々の関わりの中で把握できた趣味や好みに合わせた活動内容を子どもの興味を持てるタイミングで提案することで、子ども自身が、やってみようの気持ちで、自発的に取り組んだと思えるように関わっていく。</p> <p>・子どもの特性や感覚の偏りを把握した上で、子ども自身が『できた』と感じられようような活動内容を設定し、「あと少しでできるかも」「繰り返しチャレンジしたらできた」「もっとやってみよう」という向上心や自己肯定感を高められるように関わっていく。</p>						
	認知・行動	<p>・子どもの一人一人の特性や保護者からの相談に合わせ、子どもが楽しいと感じながら、様々な感覚刺激を受け、認知行動や課題解決を高められるように、活動内容を工夫し、子どもが自分で『できた』と感じられるように関わっていく。</p> <p>・子どもが、将来社会生活を営む上で、必要となる知識や認知機能を身につけられるように、物に対する認識力や数理解、空間・時間の概念などを活動ないように取り入れ、子どもが楽しい気持ちで取り組む中で、自分で「わかった」「できた」と感じられ、「もっと知りたい・理解したい」と思えるように関わっていく。</p>						
	言語コミュニケーション	<p>・子どもが、自分が何をしたいのかを理解し、伝えたい相手に伝えるための方法として、言葉や表情、身振り、誘導など、様々な方法や手段があることを知り、自分が伝えやすいと感じた方法を身につけ、伝えることで、伝えることができた実感し、人との関わりでの大切さや必要性を理解できるように関わっていく。</p> <p>・子どもが、伝えたいことを伝える方法として、様々な方法があることを体験し、知ることができるように関わり、自分に合った気持ちよく伝えられる方法を見つけられることで、好ましい方法で、自分の伝えたいことを伝えられるように関わっていく。</p>						
	人間関係社会性	<p>・子どもが、安心して過ごすことができる場所で、支援者やお友だちとの関係性を築き、自分の気持ちを理解することや適切な方法で表現できる体験を通じ、自己肯定感や自己実現、自己理解を深め、気持ちよく過ごすために必要な関わり方を身につけられるように関わっていく。</p> <p>・療育活動を通じて、他者との関わりを楽しみたいと感じられるようになり、自分の気持ちを伝えたいと感じた時に、好ましい方法での伝え方を体験から身につけることや、他者の自分と同じように伝えたいことがあることを理解した上で、自分の気持ちに折り合いをつけることや交渉や対話することで、自分だけでなく、みんなが楽しく過ごすためにはどうすれば良いのかを考えられるように関わっていく。</p>						
家族支援	<p>・個別療育や小集団療育の様子を記録や送迎時に共有し、子どもの活動の様子や家庭や学校での気になることなどを聞き、過程でできる関わり方や内容によっては関係各所へ連絡するなど、早期解決に向けた行動を実施して。</p>	移行支援	<p>・就園や就学、進学や就職など、子どものライフステージの大きなターニングポイントにおいて、保護者様の思いや子どもの活動の様子、それぞれの進む先の情報をベースに、子どもが安心して過ごすことができる環境について、保護者様や関係各所と連携して、考えていく。</p>					
地域支援・地域連携	<p>・事業所を利用している子どもの通う園や学校に対して、個別支援計画の見直しや情報共有の場として、園や学校に連絡し対応する。</p> <p>・子どもの好きなことを見つけた上で、地域のスポーツクラブなどを紹介している。</p>	職員の質の向上	<p>・子どもの事例検討を、日々の業務内容に取り入れることで、課題の早期解決に向けた取り組みをいいつつ、発達支援についての理解を深められる場を設け、より質の高い支援を実施できるような体制を整えている。その際、様々な分野の研修を同時に取り入れて実施しています。</p>					
主な行事等	<p>・一年間の振り返り会(スライドショーとアルバム贈呈式)←自分の成長を客観視できることや自分のことを大切に思われていることを実感できる機会として実施。</p> <p>・ハロウィン(近所の住民の方への自宅訪問) ・クリスマス会 ・初詣 ・避難訓練 ・水遊び ・事業所開所記念イベント 農業体験(地域の提携企業にて実施。)</p> <p>・事業所外療育活動(買い物・ファストフードなどでの外食・公共施設、公共交通機関、商業施設内及び遊技場でのルールやマナーを身につける活動)</p>							